

手をつなぐとも

# 等友

S  
60・10・1生

〒111-0041  
台東区元浅草  
2-10-17  
3841-2844  
浄土真宗  
勝龍山  
等覚寺  
住職  
朝倉馨

平成23年2月  
第95号



新年会の様子(水彩画風)

ホスピスで働いたことの  
ある友人から

こんな話を聞いた

癌であと一週間の命の人に

「何かしてほしいことは

ありませんか？」

と尋ねると

「何もしてもらわなくても

いいです

ただ家族の気配を感じたい

何もしゃべらなくても寝てても

本を読んでいてもいい

ただ側にいてくれる

だけでいい」と

藤川幸之助氏の詩の一節  
同朋新聞平成二十一年十月号より

## 住職から一言

今

生きている 今  
み仏のまなざし み手の中

いつ「イノチ」が終わっても  
み仏のお浄土で  
ご恩になったなつかしい皆様に  
お逢いできる喜び

やさしいみなさまの  
お姿を報告する  
住職の別のオツトメ

合掌 住職

うさぎさんは

ピヨンピヨンと

山坂をこえて行く

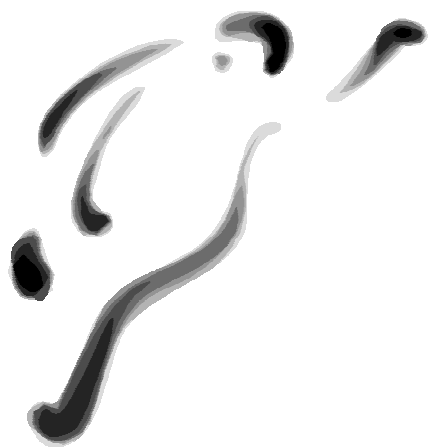
私たちも助け合って

困難を乗り越え

互いに笑顔

み仏も一緒にナムアマダブ！

香



## 新年会を開催

平成二十三年一月十六日に新年会を開催いたしました。

晴天にも恵まれ、新年の法要も皆様と共に無事お勤めすることができました。

少しではありますが、写真と共にご紹介させていただきます。今回来られなかったみなさまも次回はぜひお気軽にご参加下さい。



みんなで声を出しておつとめ



住職もお話させていただきました



大マジシャンの山口さん



大関さん、青木さん受付ありがとうございます！



宮原さんご兄弟にも盛り上げていただきました！



新年会恒例のジャンケン大会！

## 真宗・お寺 もの知りコラム

### 『なむあみだぶつ』

釋 創龍

お内仏（お仏壇）に向かって「なまんだぶくなまんだぶ」と手を合わせるおじいちゃんやおばあちゃんの姿を、テレビドラマなどでも時々見ますね。

みなさんも御本尊の前やお墓の前で、なむあみだぶつとお唱えになるかと思います。

さてこの「なむあみだぶつ」というのはどういう意味なのでしょう？

漢字で書くと「南無阿弥陀仏」ですが、この六字は「南無」と「阿弥陀仏」で分けられます。前半の「南無」はサンスクリット語の挨拶「ナマステ」の「ナマ」から来ている言葉なんです。

ナマというのは敬礼や服従といった意味合いです。仏教においては帰依することを指し、帰依とは「心からおまかせします」ということです。

ですので、「南無阿弥陀仏」とは「私は心から阿弥陀如来さまにおまかせ致します」といった意味になりますね。

実は私自身、最近まで「なまんだぶなまんだぶ」と言葉に出すのが気恥ずかしい思いでした。何か無理やり口に出しているような気がしていたのです。

しかしある時から、むしろ自然に口から出るようになっていくことに気づきました。

私自身が多くの方や御縁によって支えられまた生かされていることに気づいた時、

感謝せずにはおれない気持ちが溢れ、その感謝の言葉として「なまんだぶ なまんだぶ」と申さずにはおれない自分だったのです。

「『南無阿弥陀仏』と申す文字は、その数わずかに六字なれば、さのみ機能のあるべきとも覚えざるに、この六字の名号の中には、無上甚深の功德利益の広大なること、更にその極まりなきものなり」  
御文（蓮如）



## 葬儀のこと

葬儀について考えたことってありますか？ご家族の方が亡くなったときには直面することなので、もちろん考えることもあるでしょうが、その葬儀式自体の意味を深く考えたことってなかなか無いのではないのでしょうか。

浄土真宗では、葬儀というのは亡き人と向き合う場であり、亡き人との最後の大切な仏事です。

葬儀の中で、葬儀社の方々が「ご冥福をお祈りいたします」とおっしゃってるのをよく耳にしますが、実は浄土真宗ではこの言い方はいたしません※。

親しかった人の死に対して、冥福（死後

の幸福）を祈ることが、亡き人に応えることに本当になるのでしょうか？

浄土真宗の葬儀は、葬儀に参列した一人ひとりが、亡き人をご縁として生きる意味を仏さまの教えに問い、真実の教えにあう仏事です。

仏さまの救いを拠りどころとして、生まれたこと・亡き人が身をもって教えてくださったいのちの意味をあらためて考え、今という一瞬一瞬を一生懸命生きていく生活こそが亡き人に応えることなのだと思うのです。

このように大切な葬儀ですが、昨今では葬儀の本質が見失われ、葬儀社主導の形だけのものになってしまっていると感じます。これを機会にもう一度葬儀の意義を考えてみてはいかがでしょうか。

また、もしご親族やご友人が亡くなられた場合はまずお寺までご一報ください。

葬儀の進め方はもちろん、疑問に思ったことやわからないこと等あれば、できる限りお答えさせていただきたいと思えます。少しでもみなさんのお力添えになれば幸いです。

#### ※浄土真宗では何て言うの？

冥福を祈る ↓ 哀悼の意を表す

草葉の陰で ↓ お浄土から

御霊前 ↓ 御仏前

安らかに眠りください

↓ お浄土から見守りください

## 帰敬式について

みなさん、帰敬式（ききようしき）ってご存知ですか？簡単に言ってしまうと法名をいただく行事のことです。

え、法名って亡くなった後の名前じゃないの？って思いますよね。実は違うんです。

法名というのは、「釋」の字が冠せられた二字の名前で、仏弟子としての名告りをいいます。（女性の場合は尼がつきます）

仏法を明らかにされたお釈迦さまの教えに生きる者となるということです。

私も得度をした時に「釋翔雲（しゃくしょううん）」という法名をいただきました。

亡くなってから法名をいただくのではなく、生きている今だからこそ、人としての生き方や在り方を真実の仏の教えに問い、学んでいこうという出発の式が帰敬式なのです。

この帰敬式を等覚寺でも実施しようと考えています。実施時期等詳細はまだ決まっておりますが、ご希望される方はぜひ一声お掛け下さい。（今のところ、春のお彼岸頃を想定しております）



## ご披露

等友へのご懇志

鳴海様 高木様 小笠原様 山本様 広田様  
小林様 浅井様 杉山様 小林様 築瀬様  
福原様 山口様  
(順不同)

いつもご支援いただきまして、誠にありがとうございます。また、他にも多数の方から等友へのご支援をいただいております。(申し訳ございませんが、お名前には漏れがあるかと存じます。おっしゃっていたければ次号以降に順次ご紹介させていただきます) きたいと思っています)

## 編集後記



こんにちは、翔です。最近は本当に寒いですね。夏はすごく暑かったのに。。なんだか大変です。みなさんもお体にはくれぐれもお気をつけくださいね。

さて、今回帰敬式を記事にさせていただきました。帰敬式というとカタい感じがしますが、おかみそりっていうと聞いたことがあるかもしれませんね。実は同じものを指すんですよ。

帰敬式では、我々僧侶の得度と同じように式中に頭にかみそりをそえる儀式があります。(帰敬式の場合は実際には髪を剃る必要はありません)

そこからおかみそりと呼ばれるようになったんですね。



僕らでいろいろ実施の準備をしていますので、みなさんもぜひお気軽に参加して下さい！

また、あと3ヶ月と迫ってきましたが、ついに4月に親鸞聖人の七百五十回忌御遠忌で京都の東本願寺に上山します。僕も東本願寺の修復が終わってから訪れていないのでとても楽しみにしています。東本願寺ではいろいろと記念のグッズも揃えているらしいですよ。機会があればレポートいたしますので、こちらでも乞うご期待(笑)

「質問はいつでもどうぞ。」

info@tokakuji.com

☆こちらもおねがいします

等覚寺ホームページ

<http://www.tokakuji.com>

## 平成二十三年

### 等覚寺年間行事予定

三月五日(土)

いのちのふれあいゼミナール

(於 明順寺)

三月二十一日(月)

お彼岸・永代経法要

四月二十一・二日

等友旅行会

(木・金)

(親鸞聖人御遠忌)

七月十六日(土)

盂蘭盆会

十月二十三日(日)

報恩講

◎みなさまお誘い合わせの上、

お気軽にご参加ください。

## 平成二十三年年回表

一周忌	平成二十二年
三回忌	平成二十一年
七回忌	平成十七年
十三回忌	平成十一年
十七回忌	平成七年
二十三回忌	平成元年
二十七回忌	昭和六十年
三十三回忌	昭和五十四年
三十七回忌	昭和五十年
四十三回忌	昭和四十四年
四十七回忌	昭和四十年
五十回忌	昭和三十七年
七十回忌	昭和十七年
百回忌	明治四十五年